

新規採用・削除医薬品等通知

薬剤部 医薬品情報管理係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	ベネット錠 75 mg	劇	市販直後調査 平成 25 年 2 月～平成 25 年 8 月
(英名)	BENET Tablets 75mg.		
(規格・含有量)	75mg/1 錠 1 錠中、リセドロン酸ナトリウム 75mg(リセドロン酸ナトリウム水和物として 86.1mg)を含有		
(一般名)	リセドロン酸ナトリウム錠		
(メーカー名)	武田		
【薬価収載日】	2013 年 2 月		
【薬価】	1 錠:2,945.50 円		
【薬効コード】	873999		
【薬効分類名】	骨粗鬆症治療剤		
効能・効果	骨粗鬆症		
用法・用量	通常、成人にはリセドロン酸ナトリウムとして 75mg を月 1 回、起床時に十分量(約 180mL)の水とともに経口投与する。なお、服用後少なくとも 30 分は横にならず、水以外の飲食並びに他の薬剤の経口摂取も避けること。		
禁忌	①食道狭窄又はアカラシア(食道弛緩不能症)等の食道通過を遅延させる障害のある患者〔本剤の食道通過が遅延することにより、食道局所における副作用発現の危険性が高くなる。〕 ②本剤の成分あるいは他のビスフォスフォネート系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者 ③低カルシウム血症の患者〔血清カルシウム値が低下し低カルシウム血症の症状が悪化するおそれがある。〕 ④服用時に立位あるいは坐位を 30 分以上保てない患者 ⑤妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 ⑥高度な腎障害のある患者〔クレアチニンクリアランス値が約 30mL/分未満の患者では排泄が遅延するおそれがある。〕		
相互作用	本剤作用減弱 水以外の飲料、食物(特に牛乳、乳製品などの高カルシウム含有飲食物)、多価陽イオン(カルシウム、マグネシウム、鉄、アルミニウム等)含有製剤(制酸剤、ミネラル入りビタミン剤等)		
副作用	重大な副作用 上部消化管障害、肝機能障害、黄疸、顎骨壊死・顎骨骨髓炎、大腿骨転子下及び近位大腿骨骨幹部の非定型骨折 その他 下痢(5%以上)、胃部不快感、胃炎、上腹部痛、頭痛、筋・骨格痛、発熱(1～5%未満)等		

削除医薬品通知

●6月3日より

アクトネル錠 2.5 mg	削除
ベネット錠 17.5 mg	削除

医薬品変更通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
●6月3日より アクトネル錠 17.5 mg	ベネット錠 17.5 mg

適応追加通知

ヨウ化カリウム丸 50mg「日医工」	<p>放射性ヨウ素による甲状腺の内部被曝の予防・低減 甲状腺機能亢進症を伴う甲状腺腫には、ヨウ化カリウムとして1日5～50mgを1～3回に分割経口投与する。この場合は適応を慎重に考慮すること。なお、年齢、症状により適宜増減する。慢性気管支炎及び喘息に伴う喀痰喀出困難並びに第三期梅毒には、ヨウ化カリウムとして通常成人1回0.1～0.5gを1日3～4回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。放射性ヨウ素による甲状腺の内部被曝の予防・低減には、ヨウ化カリウムとして通常13歳以上には1回100mg、3歳以上13歳未満には1回50mg、生後1カ月以上3歳未満には1回32.5mg、新生児には1回16.3mgを経口投与する。</p>
ソル・メドロール静注用 40 mg 125 mg 500 mg	<p>多発性硬化症の急性増悪 通常、成人にはメチルプレドニゾンとして1日500～1000mgを徐々に静注又は点滴静注する。</p>
ヒュミラ皮下注 40mg シリンジ 0.8mL	<p>腸管型ベーチェット病 通常、成人にはアダリムマブ(遺伝子組換え)として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。初回投与4週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。</p>